



問 開発団地のごみ一時集積所用地の取り扱いについて

ごみ一時集積所は、事業者や地元自治会が管理することが一般的であるが、土地の所有者が事業者である場合、権利譲渡される可能性もあり、その場合住民が使用できなくなる懸念がある。土地の取り扱いや指導はどのように行っているのか。

また、今後の取り扱いや指導の中で、用地の津市への帰属も含めた考え方は。

答 快適な住環境が保てるよう取扱いの見直しの協議を進めている

開発区域外の既存のごみ一時集積所を利用する、あるいは開発区域内の道路を利用することを前提として協議を行ってきたが、昨今はその調整が難しくなっていることなどから、事業者において開発区域内に専用の土地を確保し、ごみ一時集積所を指定するケースが増えている。

宅地開発により設置されるごみ一時集積所の土地の寄付等を受けている自治体も多いことから、津市においても土地に係る取り扱いの見直しについて協議を進めており、今後も開発団地が将来にわたり良好な宅地水準を確保し、衛生的で快適な住環境が保てるよう取り組んでいく。

その他の質疑・質問

- 人・農地プランから地域計画への移行について
- 地域計画策定と農業基盤整備の在り方について
- 担い手育成の考え方について
- 津市の開発行政について
- 開発団地の公共施設等に係る管理について
- 水道漏水時における水道料金、下水道使用料の減免について など

▶ 開発団地内のごみ一時集積所用地については、後々問題とならない明確な指導および協議を



問 白山家城運動場をスケートボードパークに

令和4年12月に津市スポーツ施設整備計画が策定された。その中で、白山家城運動場は、今後どのように整備されていくのか。

平成2年以降、津市全体では人口が約3,400人減っている。同じ期間この運動場のある家城地区の人口は約1,300人も減っている。

野球場としては利用しないのであれば、スケートボードパークに変更してはどうか。

答 市内外の多くの人々が利用する施設であることが前提として必要

白山家城運動場については、同一地域内での代替利用が可能なことから、地域グラウンドとして位置付ける白山運動場へ集約化し、今後、地域団体等の活動の場としての利用などを検討し、地元とも協議をした結果を踏まえ、跡地の利活用を図ることとしているが、現時点でスケートボード場としての整備は困難と考えている。なお、人口減少対策や地域活性化の観点から、市内外の多くの人に利用してもらえる施設であることが前提として必要で、隣接市に国際大会に対応した施設があることなどに加え、地域の方々の考えも踏まえて検討していくことになるものと考えている。

その他の質疑・質問

- 議案第25号令和5年度津市一般会計予算
- 教育費 中学校費 学校施設維持補修事業
- 津市の保育園について
- 津市立保育園の建て替え等の計画は
- 保育士の配置基準は
- 新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけは
- 2類から5類になると市民の方々への影響は

▶ 中学生が安全・安心に授業が受けられるようにしっかりとした実施設計および工事を

